

2020年5月15日

日本イーライリリー株式会社

〒651-0086
神戸市中央区磯上通 5-1-28
www.lilly.co.jp

EL20-21

本プレスリリースは、米国イーライリリー・アンド・カンパニーが4月23日(米国現地時間)に発表したプレスリリースの一部を抜粋し、日本語に翻訳したものです。内容および解釈については英文オリジナルが優先されます。<https://www.lilly.com>をご参照ください。

米国イーライリリー・アンド・カンパニー、好調な2020年第1四半期の業績を報告 COVID-19による不確実性を反映してEPS予想幅を拡大

- ・ 2020年第1四半期の売上は22%の売上数量拡大により15%増。主要成長製品に対する潜在的需要の堅調な推移と、COVID-19(新型コロナウイルス感染症)のパンデミックによる顧客の購入行動と患者の処方傾向の増加による約2億5,000万ドルの追加の売上が寄与。
- ・ 2014年以降に上市した主要成長製品(トルリシティ®、トルツ®、ベージニオ®、ジャディアンズ®、Emergality、オルミエント®、Basaglar、Tyvyt、サイラムザ®、バクスミー®)が売上増に19パーセントポイント貢献し、総売上の約51%に拡大
- ・ 2020年第1四半期の事業費は、研究開発への投資増を反映して7%増
- ・ 2020年第1四半期の1株当たり利益(EPS)は、2019年第1四半期にエランコアニマルヘルスの分離独立で収益を計上したことを反映して報告値ベースで1.60ドルに減少、非GAAPベースでは1.75ドルに増加
- ・ COVID-19のパンデミックに対し、イーライリリーは確実に医薬品を供給することに注力するとともに、COVID-19治療薬の研究や診断・検査サービスの提供等、重要な課題の解決に科学的な注力を転換
- ・ 他の特筆すべき出来事は、トルリシティ®とトルツ®の新規適応の追加と、Dermira社の買収完了
- ・ 2020年EPS予想について、報告値で6.20ドル~6.40ドルに、非GAAP値では6.70ドル~6.90ドルにそれぞれ予想幅を拡大して修正

イーライリリー・アンド・カンパニー(NYSE: LLY、本社:米インディアナ州インディアナポリス、以下、イーライリリー)は、米国時間2020年4月23日、2020年第1四半期の業績を発表しました。

単位百万ドル (1株当たり数値を除く)	第1四半期		% 成長率
	2020	2019	
売上	\$ 5,859.8	\$ 5,092.2	15%
純利益 – 報告値	1,456.5	4,241.6	(66)%
1株当たり利益 – 報告値	1.60	4.31	(63)%
純利益 – 非 GAAP 値	1,598.8	1,236.7	29%
1株当たり利益 – 非 GAAP 値	1.75	1.33	32%

2020年度と2019年度の業績は報告値および非GAAP値の両方で示されています。本プレスリリースに含まれる数値は四捨五入のため合計が一致しない場合があります。報告値は米国一般会計原則(GAAP)に則って作成され、当該期間に計上したすべての売上および経費を含み、2019年度においてエランコアニマルヘルス(以下、エランコ)を非継続事業と見なしています。非GAAP値業績は、後述(*米国本社発表の英文オリジナルに記述)の調整表にある特定項目を除外するとともに、エランコの分離独立が2019年度の初めに完了したものと見なしています(発行済み普通株式数の減少による恩恵を含む)。イーライリリーの2020年度の業績予想も報告値と非GAAP値の両方で説明されています。非GAAP値は、会社の業績の基調的な傾向への補足的な洞察を提供するためのものです。

イーライリリーの会長兼最高経営責任者(CEO)のデイビッド・A.リックス(David A. Ricks)は次のように述べています。「リリーはCOVID-19のパンデミックに立ち向かうため、社員、コミュニティ、そしてこのウィルスに対して最もリスクの高い慢性疾患の患者さんを支援するとともに、この感染症に直接立ち向かう新規または既存の治療薬の開発に注力しています。リリーの使命である『人々の人生をより豊かにすること』が、今ほど重要な時はありません。私たちは確実に医薬品を供給すること、社員の安全を守ること、そしてCOVID-19を克服するために全速力で科学的取り組みを推進することに注力しています。また私たちは、この困難な時期において、私たちの医薬品(特にインスリン)の価格負担の軽減とアクセスの改善に力を尽くす所存です。」

米国イーライリリーの最高財務責任者(CFO)のジョシュ・スマイリーは次のようにコメントしています。「リリーは、最近上市した医薬品の順調な立ち上がりに牽引され、2019年を堅調な売上増加と利益拡大で締めくくりました。この好調な勢いは2020年第1四半期も継続し、COVID-19のパンデミックによる患者さんおよびサプラ

イチェーンの各段階における購入増によって、これがさらに増強されました。2020 年度について、私たちの売上および営業利益の見直しに変更はありませんが、COVID-19 関連以外の医療活動の減少や世界経済の停滞など、今回のパンデミックが経済およびヘルスケア産業に及ぼす影響は不確実性を孕んでおり、2020 年度後半およびそれ以降の当社の業績にネガティブな影響を与える可能性があります。そのため私たちは、基本的に強固なリリーの業績と将来の不確実性の両方を反映して、2020 年度の EPS 予想幅を拡大しました。しかし、長期的には私たちのビジネスの基本的要素は引き続き堅調であり、これは 2020 年代半ば以降の当社の財務見直しにも当てはまります。」

イーライリリー・アンド・カンパニーについて

イーライリリー社は、世界中の人々の生活をより良いものにするためにケアと創薬を結び付けるヘルスケアにおける世界的なリーダーです。イーライリリー社は、1 世紀以上前に、真のニーズを満たす高品質の医薬品を創造することに全力を尽くした 1 人の男性によって設立され、今日でもすべての業務においてその使命に忠実であり続けています。世界中で、イーライリリー社の従業員は、それを必要とする人々の人生を変えるような医薬品を開発し届けるため、病気についての理解と管理を向上させるため、そして慈善活動とボランティア活動を通じて地域社会に利益を還元するために働いています。イーライリリー社の詳細については www.lilly.com および <https://www.lilly.com/news> をご覧ください。

日本イーライリリーについて

日本イーライリリー株式会社は、米国イーライリリー・アンド・カンパニーの日本法人です。人々がより長く、より健康で、充実した生活を実現できるよう、革新的な医薬品の開発・製造・輸入・販売を通じ、がん、糖尿病、筋骨格系疾患、中枢神経系疾患、自己免疫疾患、成長障害、疼痛、などの領域で日本の医療に貢献しています。詳細はウェブサイトをご覧ください。 <https://www.lilly.co.jp>

This press release contains management's current intentions and expectations for the future, all of which are forward-looking statements within the meaning of Section 27A of the Securities Act of 1933 and Section 21E of the Securities Exchange Act of 1934. The words "estimate", "project", "intend", "expect", "believe", "target", "anticipate" and similar expressions are intended to identify forward-looking statements. Actual results may differ materially due to various factors. There are significant risks and uncertainties in pharmaceutical research and development. There can be no guarantees that pipeline products will receive the necessary clinical and manufacturing regulatory approvals or that they will prove to be commercially successful. The company's results may also be affected by such factors as the timing of anticipated regulatory approvals and launches of new products; market uptake of recently launched products; competitive developments affecting current products and our pipeline; the expiration of intellectual property protection for certain of the company's products; the company's ability to protect and enforce patents and other intellectual property; the impact of actions of governmental and private payers affecting the pricing of, reimbursement for, and access to pharmaceuticals; regulatory compliance problems or government investigations; regulatory actions regarding currently marketed products; unexpected safety or efficacy concerns associated with the company's products; issues with product supply stemming from manufacturing difficulties or disruptions; regulatory changes or other developments; changes in patent law or regulations related to data-package exclusivity; litigation involving past, current or future products; unauthorized disclosure, misappropriation, or compromise of trade secrets or other confidential data stored in the company's information systems, networks and facilities, or those of third parties with which the company shares its data; changes in tax law and regulations, including the impact of U.S. tax reform legislation enacted in December 2017 and related guidance; changes in inflation, interest rates, and foreign currency exchange rates; asset impairments and restructuring charges; changes in accounting standards promulgated by the Financial Account-

ing Standards Board and the Securities and Exchange Commission (SEC); acquisitions and business development transactions and related integration costs; information technology system inadequacies or operating failures; the impact of the evolving COVID-19 pandemic, and the global response thereto; reliance on third-party relationships and outsourcing arrangements; and global macroeconomic conditions. For additional information about the factors that could cause actual results to differ materially from forward-looking statements, please see the company's latest Form 10-K and subsequent Forms 8-K and 10-Q filed with the SEC. You should not place undue reliance on forward-looking statements, which speak only as of the date of this release. Except as is required by law, the company expressly disclaims any obligation to publicly release any revisions to forward-looking statements to reflect events after the date of this release.